

川南町中学校新設についてのアンケート調査結果報告書

川南町教育委員会

1 調査の目的

学校の小規模化が進む中、子どもたちやその保護者にとって魅力的な教育環境や教育の質の向上を図るためには、どのような点に留意し推し進めるべきかを把握するための調査を実施した。

2 調査期間

令和3年2月22日から令和3年3月12日まで

3 対象者数

- (1) 町内の小中学校及び保育園等の保護者 1,425名
- (2) 一般町民から無作為に抽出 500名

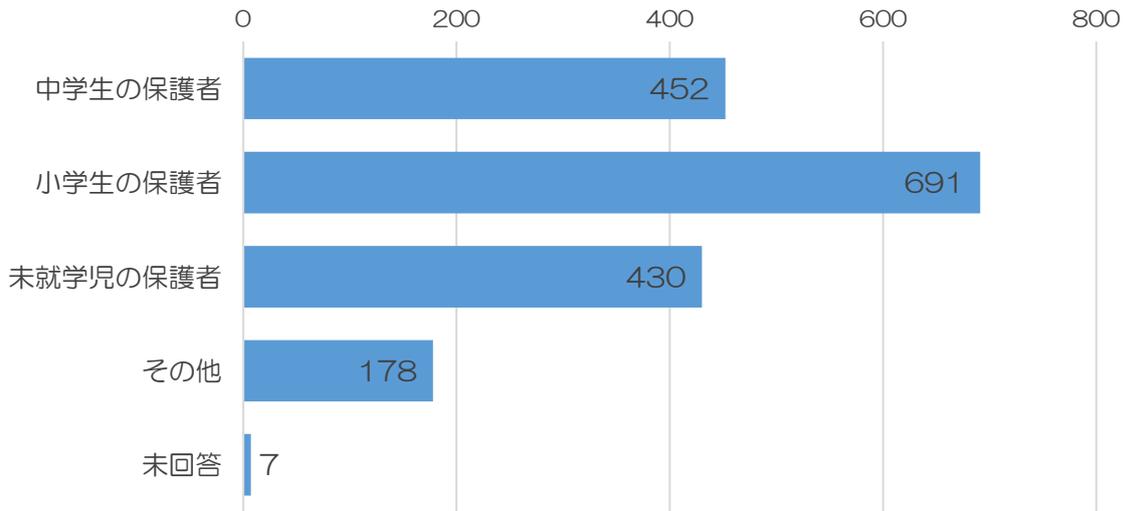
4 回収方法

小中学校及び保育園等の保護者は、学校や保育所等を通じて配布及び回収。一般町民は郵送し、同封している返信用封筒により返信。重複する場合は、いずれかでの回答。

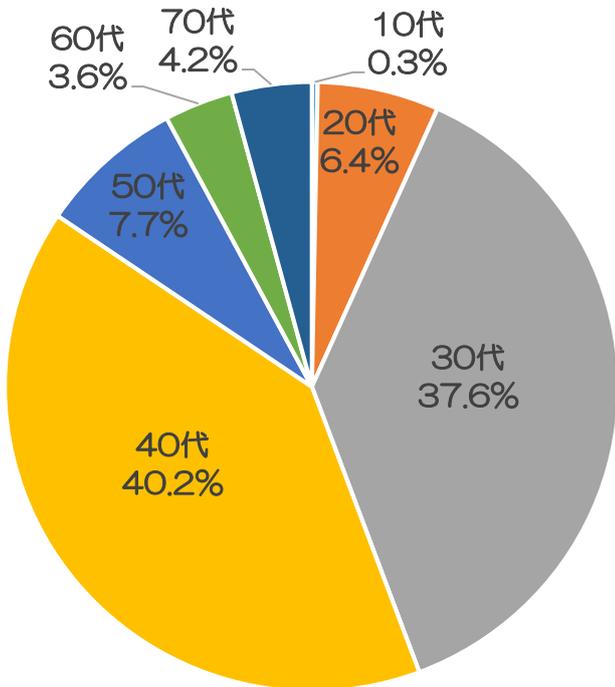
5 回収率等

	配布数	回収数	回収率(%)
保護者	1,425	1,167	81.9
一般町民	500	188	37.6
合計	1,925	1,355	70.4

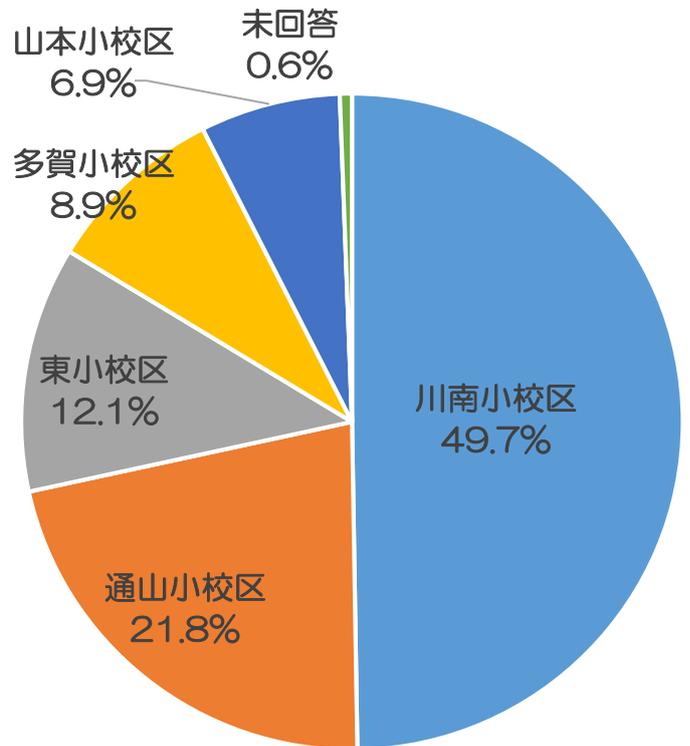
質問1 - (1) 回答者の分類（複数回答可）について



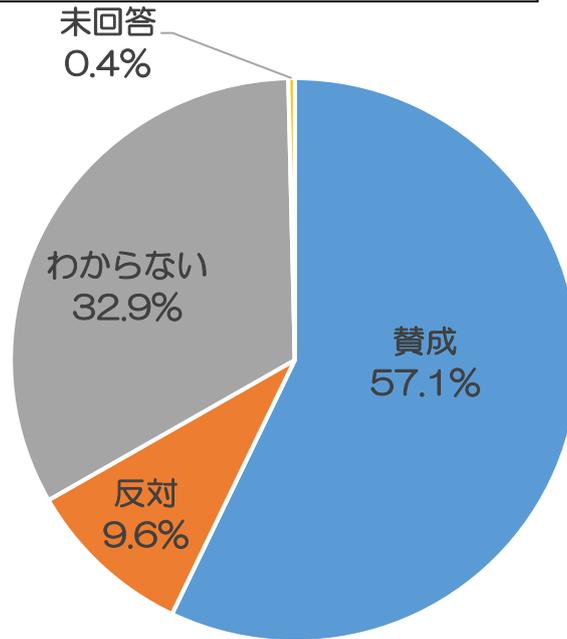
質問1 - (2) 回答者の年齢について



質問1 - (3) 回答者の住む小学校区について

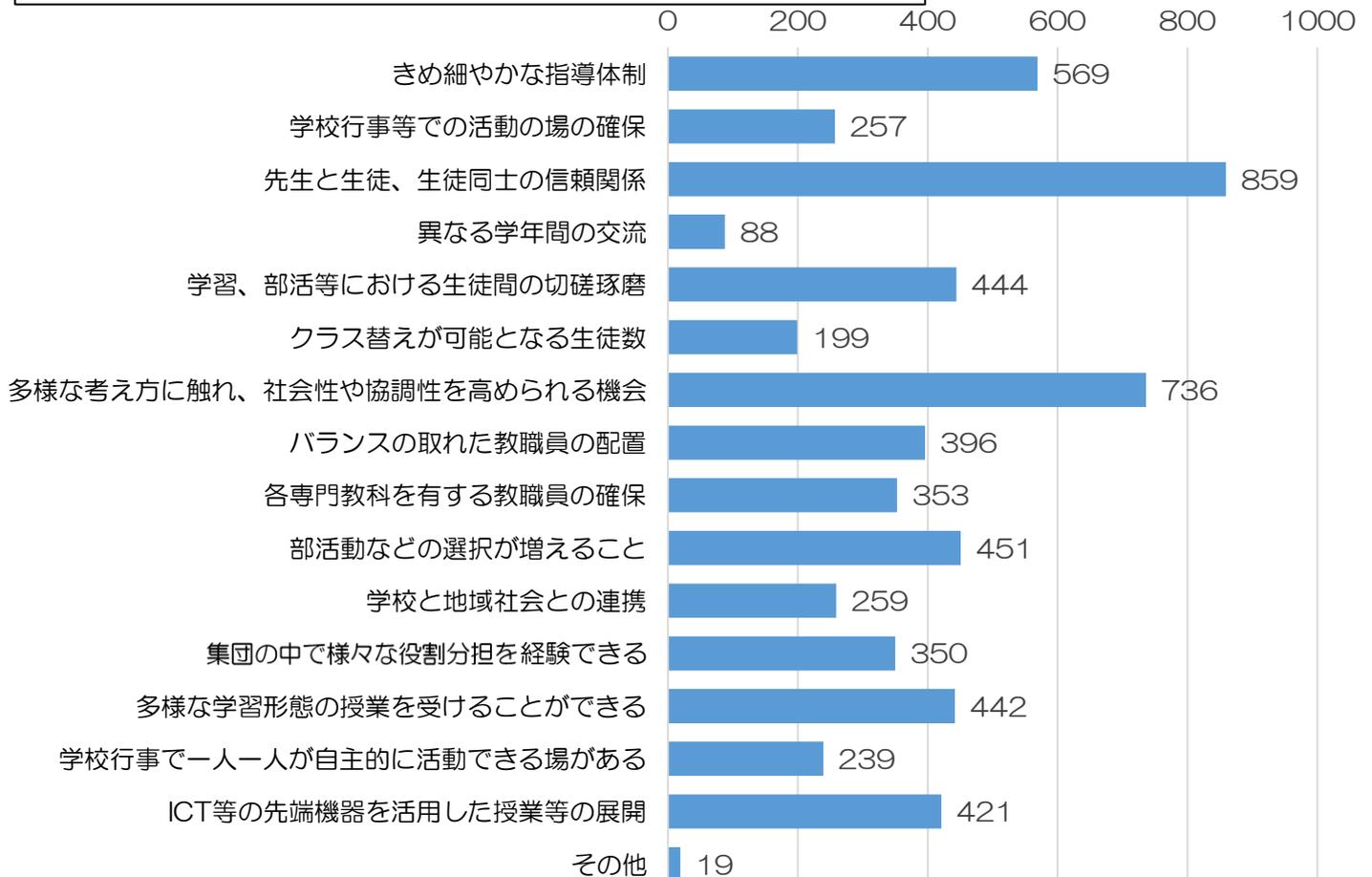


質問2 両中学校の統合についてどう思いますか。



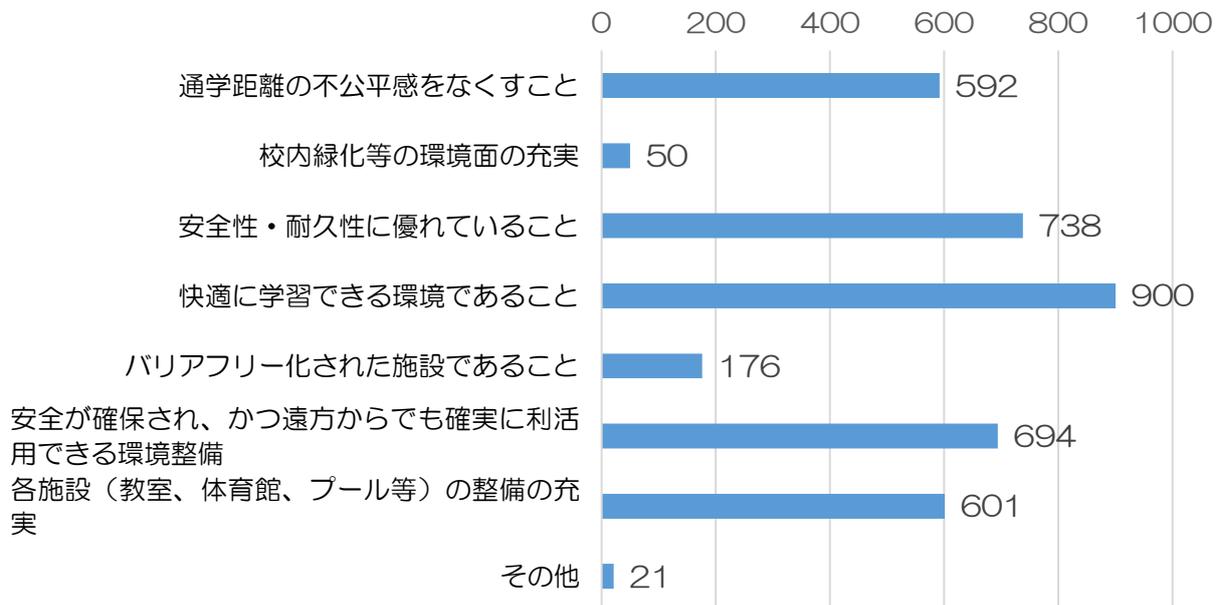
質問3- (1)

中学生にとって良好な学習環境等（ソフト面）を確保するためにどのようなことが必要だと思いますか。（上位5つ以内）



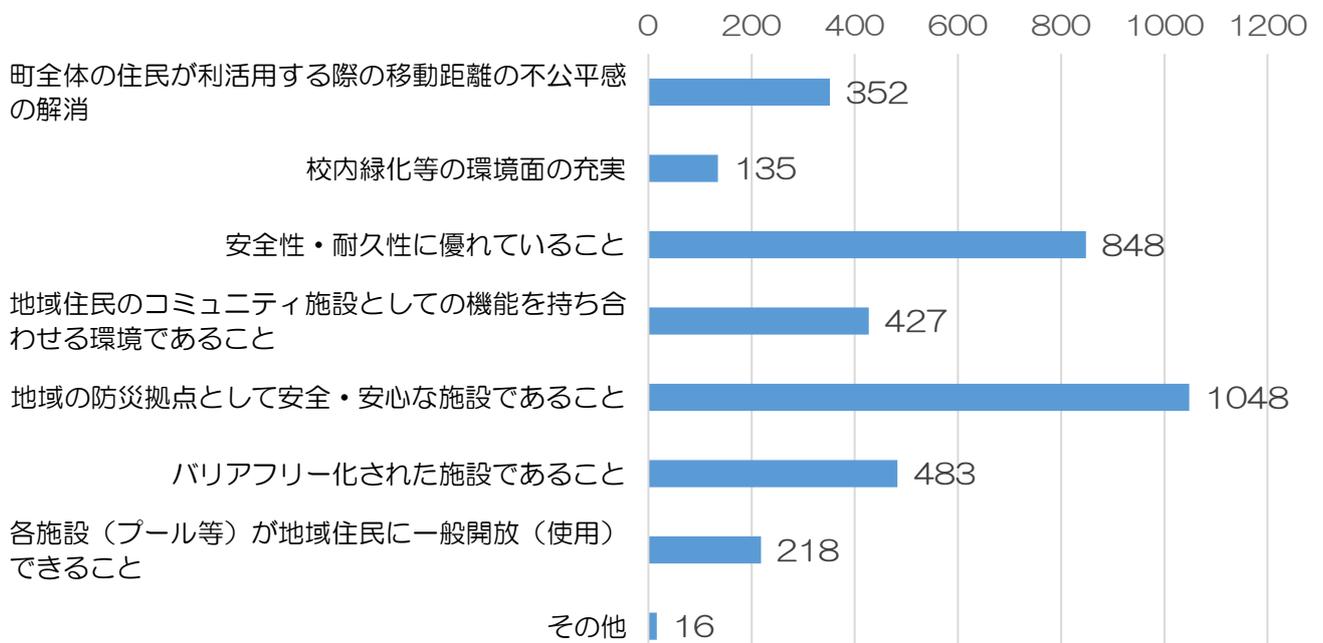
質問3- (2)

新中学校で毎日利用する生徒にとって環境面（ハード面）の整備で重要なことは何だと思えますか。（上位3つ以内）

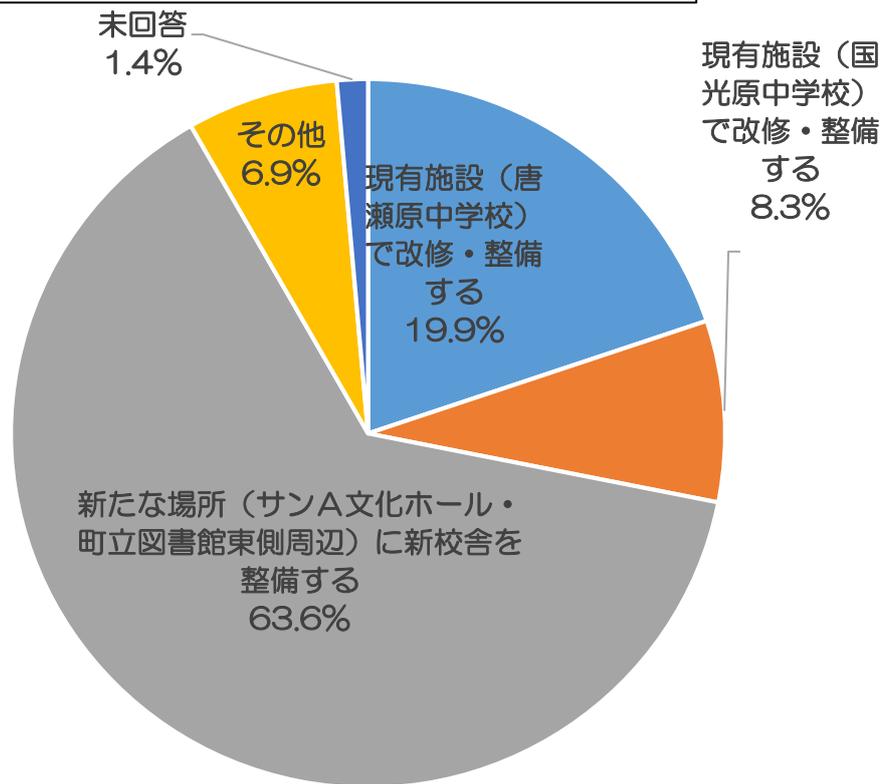


質問3- (3)

新中学校における地域住民にとって環境面（ハード面）の整備では、どのようなことが重要だと思えますか。（上位3つ以内）



質問4
新中学校の設置場所についてのお考えをお聞かせください。



質問5
その他ご意見やご提案があればお聞かせください。

(1) 新中学校へ期待する学校のイメージについて

- 楽しく健やかに学べる環境であると良い。人との繋がりだけでなく、他の繋がりに触れてたくさんの事を学んで欲しい。
- 地域の活性化につながるにぎやかな学校にして欲しい。
- 新中学校は、生徒だけでなく、地域住民も生徒と一緒に学べる機能を持った環境整備が必要だと思います。
- 部活動の環境整備に十分配慮すること。
- 新中学校に関しては、耐震、耐津波、耐火を考慮すること。
- 新たな場所に新校舎を設置した場合、防災センターを設置してほしい。また、お店も誘致して欲しい。
- 鹿児島島のユクサおおすみ海の学校のような地域の魅力を発信する拠点に！
- 中学校入学から宮崎市内まで通うような生徒が多くいます。教育内容が違うのでは？川南町で「十分」と思われるような施設を期待します。
- 地方にいても中央と変わらない教育を受けられる様な環境整備をお願いしたい。
- 子どもたちの家庭での学習ができない、整っていない子どもたちの為に自主学習する場所を作って欲しい。
- 長期利用とコミュニティ施設としての機能を有する施設として活用できると良い。

- 学校も古くなってきてるし、耐久性・安全性のある校舎で学べると親としては安心できる。防災施設としての活用も必要だと思うので、それに対応できるような構造にすると良い。
- 新中学校を含め、3つの防災拠点ができ、近くの住民が安心できる。また、企業や地域住民の活性化のため校舎の貸し出しや誘致することもできる。
- ブラック校則のようなものを作らないこと。時代に合った自由で伸びのび学べる校風を目指して欲しい。

(2) 現有施設の利活用について

- 一般開放すれば、地域の人達と接する機会になるのではないかな。
- 災害時の避難施設として利用。
- 近くの人が気軽に運動できる体育館。
- 南海トラフ地震に起因する津波の災害が予想されるところの、通浜外沿岸部の海拔のない地域の方々の集団避難先としての活用に当てたらいかがでしょうか。
- 体育館は子どもから高齢者まで（地域の人達）のスポーツ施設として利用。教室は各種団体の会合として利用。
- 宿泊施設や老人施設として活用。
- 現有施設は地域の拠点として、地域住民が活用、交流の場として改良整備をして欲しいと思います。
- 現有施設は、耐震的に問題なければ避難所や町の各施設に活用すべき。国中のグラウンドは野球場、唐中のグラウンドはサッカー場に特化すべき。
- 残った校舎については、交流の場や災害時の活用、グラウンドなどはスポーツ合宿所など他の県から迎え入れる施設に活用できると良い。
- 宿泊施設や介護施設に活用できると良い。
- バリアフリー化された施設で、地域住民に活用できれば良い。
- 子育て支援の場としても活用できたら良い。
- 廃止後、災害時の避難所として活用してもらいたい。
- 体育館等については、防災等で使用できるようにして欲しい。また、スポーツの大会等でも使用できるようにして欲しい。
- 唐中、国中については、地域のコミュニティ施設であったり、防災や防疫資機材等の拠点にすべき。グラウンドは、住民が気軽にスポーツできる環境が良い。
- 学校へ通う子どもたちにとっては、中間地点に新学校を設立し、現有施設は地域住民のコミュニティ施設として、整備したら良いと思う。
- 町内での雇用を創出できる企業又は町内への居住が期待できる学校など。
- エアコンを付けたばかりで各教室など快適に使用することが可能なので、地域の公民館の代わりに塾として使用できると良い。
- 唐中は校舎も校庭も広いので、統合しても使用して欲しい。国中は10号線沿いなので、敷地の売却も1つの選択だと思う。
- プールが利用できる（一般用）にして欲しい。

- 高齢者向けの教室とかに役立て欲しい。
- イベント会場や老人施設。
- 社会福祉施設、デイサービス。
- スポーツ合宿所、料理教室、農家さんの野菜販売、体験交流施設、研修施設。
- 校舎を宿泊施設にして、スポーツ合宿やキャンプ場等に利用してはどうか。唐中はグラウンドも広く適しているのでは。
- 両中学校を廃止した場合、普段は町民が学習等に使用できるようにしてほしい。災害時、長期間避難できるよう教室等を改装して、合宿など使用できるようになれば理想的。
- 現有施設は、企業誘致にする。
- 廃止した中学校は子どもたちが休みの日にスポーツできる体育館などの利用が望ましい。
- 災害時の避難所。地域住民のコミュニティ施設。独立を目指す人たちの店舗や育成場所に活用。
- 現有施設は、地域の防災拠点として活用してはどうか。
- 災害を想定して、「調理室」、「トイレ」、「体育館」などは、避難所として活用できるよう残しておくことが大事。

(3) スクールバスについて

- 全中学生が登下校の無理のない距離にあること。
- バス通学の導入等があると助かる。
- 通学距離に難のある場所は、通学バスの運用が求められる。
- 中学校の統合は賛成だが、スクールバスがあれば良いのではないかと思う。
- 統廃合は、やむを得ないが子どもたちの交通の面が心配されます。現在のコミュニティバスの利用をもう少し考えてほしい。
- 新設置場所は、川南町内の中心部に有るほうが公平で良いが、多賀小、山本小など遠方の子どもたちの負担をなくすためと安全性を考慮した場合に、スクールバスが有るのも良いかと思われます。もしくはコミュニティバスの中学生以下、無料乗車など。
- 現中学校の建物の対応年数はどれくらいあるのか。中央に持ってきたとき、一定以上の所から通学する生徒の足の確保は？

(4) 小中一貫について

- 子どもたちが少なくなっていくので、一体化するのが良いと思います。
- 小中一貫校という選択肢はなかったのか。
- 小中学校が一緒になることが希望だが、小学生の登下校のことを考えると小学校は地区の近くで歩いていける場所が安心。中学生は、その後高校に行ったり、働いたりを考えると1つにして、登下校の手段を選びながら通学というのが将来につながると思う。
- 唐中に東小、川南小の子どもたち、国中に通山小、多賀小の子どもたちで小中一貫校制の学校にはできないものなのでしょうか。
- 小中一貫校に期待したい。

(5) その他

- 調査票での質問のやり方が偏っている為、新しい中学校を建てる方向でのアンケートになっている。その他の意見が書きづらい。
- 発達障がいがある子どもの一貫校と就職支援までできる施設として利用してほしい。
- 人口の少ない川南町に今ある中学校を改修・整備して新たに施設を作る費用があるなら、今の地域にある公民館を改修して欲しい。古いトイレをまず新しくして欲しい。
- 先にアンケートをとってから話を進めるべきだった。町民の意見を無視している。
- 現状のままで良いと思う。標準学級数も少子化で変わるのでないか。
- 個人的には統廃合は淋しい気持ちもあり、反対ですが、時代の流れで仕方ないのかなと思います。川南は広いので生徒さんの通学距離が気になるところです。これからの川南を担う若者がよりよい環境で学んで成長していただけるように、検討くださり、新中学校が素晴らしいものになることを心から願っています。

川南町中学校新設に関するアンケート調査結果及び分析と考察

1 アンケート回収率について

本アンケート調査は、町内の小中学校の保護者及び一般町民から無作為に抽出した、1925名を対象に実施した。回収率は、一般町民がやや低かったものの保護者を合わせると70%を超える回収率であり、関心の高さが回収率に表れていると分析する。

2 アンケート調査結果から

(1) 質問1について

質問1では、回答者本人に関する質問を行った。回答者を対象別に見ると対象者が一番多い小中の保護者に加え、未就学児の保護者の回答も多かった。また、回答者の年齢は30代、40代が多くを占めている。回答者の多い小学校区として川南小校区と通山小校区で約72%となっている。

(2) 質問2について

質問2では、中学校の統廃合に関する質問を行った。中学校の統合について、賛成が57.1%、反対は9.6%、わからないが32.9%の結果であった。平成28年度の中学校再編のアンケート調査結果においては、必要だと思うが22.8%であったのに対し、今回の調査では過半数が賛成という結果であった。

(3) 質問3について

質問3の(1)では、中学生にとっての良好な学習環境等(ソフト面)の確保について質問した。その結果、「先生と生徒、生徒同士の信頼関係」「多様な考え方に触れ、社会性や協調性を高める機会」「きめ細やかな指導体制」「部活動などの選択肢が増えること」等が上位を占めた。

質問3の(2)では、新中学校を毎日利用する生徒にとっての環境面(ハード面)の整備について質問した。その結果、「快適に学習できる環境であること」「安全性・耐久性に優れていること」「安全が確保され、かつ遠方からでも利活用できる環境整備」が上位を占めた。

質問3の(3)では、地域住民にとっての環境面(ハード面)の整備について重要な点について質問した。その結果、「地域の防災拠点として安全・安心な施設であること」「安全性・耐久性に優れていること」が上位を占めた。

(4) 質問4について

質問4では、新中学校の設置場所についての質問を行った。現有施設(唐瀬原中)を活用するが、19.9%、現有施設(国光原中)を活用するが、8.3%、新たな場所(サンA文化ホール・町立図書館東側周辺)に新校舎を整備するが、63.6%、その他6.9%、未回答1.4%であった。

(5) 質問5について

質問5では、新たな学校へ期待する学校のイメージや現有施設について意見を伺った。

①新中学校へ期待する学校イメージについて

意見の多かったこととして、安全性や防災への対応など安心して学べる環境を求める意見が複数回答であった。また、地域コミュニティとしての機能をもつ学校や部活動への環境整備を求める声もあげられた。

②現有施設の活用について

現有施設については、地域の拠点として地域住民が活用できる施設を望んでいる意見が多く見られた。また、スポーツ合宿所や研修施設、地域コミュニティ施設としての活用を求める声が多かった。

③スクールバスについて

遠方からの通学生徒に対してのスクールバス導入の声が多く聞かれた。また、現在のコミュニティバスの運用の在り方に関する意見も聞かれた。

④小中一貫について

子どもの数が減少方向にあることを踏まえ、小中一貫教育校を期待する声が多く聞かれた。

⑤その他

調査質問用紙に関すること、地域の公民館の改修に関すること、これからの川南町を担うよりよい教育環境の整備に関することなどの声が聞かれた。

3 分析と考察

中学校新設に関するアンケートを令和3年2月22日から令和3年3月12日まで実施し、その結果を集計した。平成28年度町立学校再編に関するアンケートに次ぐ2回目の実施となり、配布数1925名に対し1355名の回収数で回収率は70.4%と高い回収率であった。アンケート調査にご協力いただいた保護者や町民の皆様に深く感謝申し上げたい。

さて、統廃合については賛成が過半数を超え、反対は9.6%であることから統合に前向きな考え方をもたれている町民の意識が高いと分析する。また、教育環境の整備については、統合することにより先生と生徒との信頼関係を基盤に「きめ細やかな指導体制の構築」、「多様な考え方や協調性を培うこと」「部活動などの選択」などに期待していることがわかった。また、「安全で快適な教育環境の整備」、「地域の防災拠点やコミュニティ施設」としての機能など、地域と一体となった教育の必要性を感じた。通学に関する不安解消などの意見もあり、スクールバスの導入も考える必要がある。

これからの子どもたちにとってよりよい教育環境を提供することは我々の責務であり、この貴重なアンケート結果を基に「教育環境の整備」に努めていきたい。